早稲田大学 大学院法学研究科
2027 年度 修士課程入学試験問題（社会人入試）
【小 論 文】

社会人研究課題	「 労働、社会保障と法 」

以下の設問のうち、いずれか１つを選択して論じなさい。

なお、研究テーマが労働法と社会保障法の両方にまたがる人も含めて、労働法の研究指導を受けることを希望している人は、労働法の設問から選択すること。

1　過半数労働組合がない事業場における労働基準法上の過半数代表者について、その選出手続をめぐる人事労務管理上の課題を挙げつつ、過半数代表者が事業場で果たしうる役割と使用者の関与・支援のあり方について、論じなさい。

2　賞与の法的性質について、賞与請求権や賞与相当額の損害賠償請求権との関係が問題となる具体的な例を挙げつつ、論じなさい。

3　現在、労働基準法改正に向けた政府の検討において、裁量労働制のみなし制の対象の拡充が議論されている。現行の裁量労働制のみなし制において考えられる制度の長所と短所を挙げつつ、同制度の対象の拡充についてどう考えるか、自由に論じなさい。

4　社会保障給付水準の切り下げをめぐって考えられる法律問題につき、生活保護と公的年金を題材にして論じなさい。

5　2010 年代半ば以降、給付とは区別される相談支援を組み込んだ社会保障制度が整備されるに至った背景・現状・課題につき、相談支援の法的性格にも言及しながら論じなさい。

6　福祉領域を中心に展開されている包括的支援体制整備をめぐる制度状況と課題につき、社会保障制度改革の柱である「地域共生社会の推進」の観点を踏まえつつ論じなさい。

答案の書き方（ ○横書 ／ 縦書 ）　六法全書の使用を（ 認める ／○認めない ）